

平成28年度 第2回鴨川市総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成28年11月22日 開会 午後3時00分
閉会 午後4時30分
- 2 場 所 鴨川市文化財センター学習室
- 3 出席者 (1) 長谷川孝夫市長 (2) 村上修平教育委員長
(3) 石井千枝委員長職務代理者 (4) 根本新太郎教育委員
(5) 吉原里夏教育委員 (6) 野田純教育長
(7) 瀧口正勝学校教育課長 (8) 黒野雅典生涯学習課長
(9) 鈴木克己スポーツ振興課長 (10) 山口政美給食センター所長
(11) 羽田幸弘子ども支援課長 (12) 唐鎌孝行学校教育課長補佐

4 開会（瀧口学校教育課長）

ただいまより、第2回鴨川市総合教育会議を開催いたします。

本日の会議の主な協議内容は、教育委員会内各課、学校給食センター、子ども支援課の平成29年度当初予算と、不祥事対応の2点でございます。この当初予算につきましては、この後、財政課のヒアリング等があり、本会議での議決を図るものではないかと存じます。また、不祥事対応については、先頃、本市内中学校で発生しました体罰事案についての報告他、今後の対応等について、市長を交え、教育委員の皆様にご意見を伺う機会といたしたいと存じます。

なお、本日の会議ですが、この後の予定がございますので、4時15分を終了の目安にさせていただきますと思います。

それでは、会議のはじめに、市長よりご挨拶をいただきます。長谷川市長、よろしく申し上げます。

5 市長挨拶（長谷川市長）

改めまして、皆様、こんにちは。委員の皆様には大変お忙しい中、ご参集いただきまして、心より御礼申し上げます。6月に開催いたしました、第1回総合教育会議では、教育大綱の変更および本市の「子ども・子育て支援」について、活発なご意見をいただきましてありがとうございました。

本日は、第2回目の総合教育会議となりますが、協議内容につきましては、先ほど事務局より説明がありましたとおり、平成29年度当初予算につきましては、まだ決定ではありませんがご協議いただきたいと存じます。また、大変残念な報告となりますが、先般、本市内で体罰による不祥事問題が発生いたしました。については、この件につきましてもご協議をいただきたいと存じます。本来であれば、今日は、教育の条件整備など、重点的に講ずべき施策について検討する予定であり、教育委員会内各課、学校給食センター、子ども支援課から、次年度の主要事業や新たな取り組みと予算要望について説明を求め、教育委員の皆様と協議して参りたいと考えておりましたが、同様の重要案件が発生いたしましたので、本日は限られた時間ではございますが、平成29年度当初予算に関することと、体罰案件の2点について、教育委員の皆様にご意見をお伺いしたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（瀧口学校教育課長）

ありがとうございました。それではこれより協議となりますので、議長を長谷川市長にお願いいたします。市長よろしく申し上げます。

6 協議事項

(1) 平成29年度教育委員会当初予算について

（長谷川市長）

それでは、次第に沿いまして進めさせていただきます。協議事項の(1)平成

29年度教育委員会当初予算について、各担当課長より説明をお願いしたいと思います。はじめに、学校教育課長からお願いします。

- 瀧口学校教育課長から、平成29年度当初予算における主要事業等について、資料をもとに説明がなされた。

(長谷川市長)

ただ今、学校教育課関係の主なものということで説明がございましたが、これについて、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

(野田教育長)

教育用パソコンの整備ですが、これは、今あるデスクトップ型を今後、タブレット型に更新していくということですが、2か年でやるということですか。

(瀧口学校教育課長)

現在、各学校に配置してあるパソコンは耐用年数から、今後更新が必要となってきております。国ではICTを活用した教育の推進から、今後、一人一台のタブレット端末の配備を推進しており、本市では、5か年計画にて29～30年度の2年間で、各学校に配置してあるパソコンをデスクトップ型からタブレット型への更新を計画しているものです。

(石井委員長職務代理者)

鴨川中学校の野球場の改修工事は、今回特別に工事が必要ということなのか。それとも、今後、継続しての整備が必要ということなのか。

(瀧口学校教育課長)

市内3中学校の野球場の整備については、毎年、23万円程度の砂を補充し整備しているところではありますが、鴨川中学校の野球場は、冬場に風の影響で砂が大変多く飛散してしまう状況であります。加えて、他校より部員数が多く使用頻度が多いことや大会会場となることから、怪我等の安全面を考慮し、3～4年程度の期間で、今後も整備が必要と考えております。

(石井委員長職務代理者)

天津小学校体育館も老朽化が激しく、改修が必要と思われませんが、体育館へ行く通路の屋根の整備はどうなっているのか。

(瀧口学校教育課長)

毎年の台風で被害が出ているところではありますが、予算の関係から一気に改修とは行かず、その都度の改修工事で対応しているところでもあります。

(村上委員長)

教育用パソコンについて、タブレット型パソコンへの更新ということですが、パソコン内蔵の必要なソフトについては予算化しなくていいのか。

(瀧口学校教育課長)

ワードやエクセルなど最低限必要な内蔵ソフトについては、この予算の中に含まれております。安房東中や田原小での研究から確認しております。また、タブレット購入だけでなく、必要な配線等の環境整備費につきましても、すべて含んだ予算となっております。

(村上委員長)

各学校に電子黒板が配置されているが、これとタブレットを接続し各小学校が一斉に1つの教材を使つての授業等はできるのか。

(瀧口学校教育課長)
そこまでの環境整備は考えておりません。

(野田教育長)
現在、田原小が研究している教材プログラムを使い、市内全小学校で同じ授業を進めることは可能であります。

(村上委員長)
鴨川中学校区の小中一貫教育はやや共通感に欠ける気がするが、このタブレット教材をうまく活用し、5つの小学校が共通した取り組みができるよう研究をしていただきたい。

(瀧口学校教育課長)
田原小や安房東中で取り組んだ成果を検証するとともに、教職員が機器の操作を理解し、効果的に活用するための研修が必要と考えております。併せて小中一貫教育の視点からも、このタブレットを有効活用した教育方法について検討していきます。

(長谷川市長)
以前、一つのスタジオで授業を展開し、それを他の学校で一斉にテレビを使い授業展開したことがあります。タブレットを使い、同様な教育を進めるところは考えていませんか。

(瀧口学校教育課長)
まずは教育環境を整備し、今回取り組んでいる田原小と安房東中のプログラムを検証し活用できること、併せて教職員の取り扱いに向けた研修と同時に、他の有効な活用方法について研修を進めて参りたいと考えております。

(長谷川市長)
これは決定ではありませんが、引き続き皆様のご意見をいただきながら進めて参りたいと思います。
次に、生涯学習課より説明をお願いします。

- 黒野生涯学習課長から、平成29年度当初予算における懸案・新規・重要である事業について資料をもとに説明がなされた。

(長谷川市長)
いかがでしょうか。何か、ご意見・ご質問はございますか。
旧曾呂小学校の施設活用については、市民ギャラリーと公民館の機能を兼ね備えた複合交流施設ということで、委員の皆様のご意見も聞きたいところでありますがいかがでしょうか。

(野田教育長)
このことにつきましては、現在、検討会をやっておりますので、その経過として次回皆様のご意見を伺いたいと考えております。

(長谷川市長)
承知しました。では、時間の関係で次に進ませていただきます。
スポーツ振興課より説明をお願いします。

- 鈴木スポーツ振興課長から、平成29年度当初予算における主要事業等について、資料をもとに説明がなされた。

(長谷川市長)

委員の皆様には、多目的施設の基本設計については説明はしてありますか。

(鈴木スポーツ振興課長)
説明してございます。

(長谷川市長)
多目的施設では、29億9千万円がかかるわけですが、付帯施設を併せるとプラス3～4億かかると思われますが、財源確保として都市公園化することによって国の社会資本整備総合交付金を見越しているところであります。

(野田教育長)
工事請負費の陸上競技場場外トイレ設置工事について、説明をお願いします。

(鈴木スポーツ振興課長)
オルカ鴨川FCが2部に昇格したところでありますが、陸上競技場のトイレが飽和状態であり、仮設置ではあります。トイレ工事を考えております。併せて、空調機器と場外シャワー設置工事についても要望をしたいと考えております。

(長谷川市長)
続きまして、学校給食センターよりお願いします。

- 山口学校給食センター所長より、平成29年度当初予算における主要事業等について、資料をもとに説明がなされた。

(長谷川市長)
この新しい真空冷却機となった場合は、何度まで温度を下げるができるのか。

(山口学校給食センター所長)
5度まで下げることができ、より安全な学校給食を提供することができます。

(石井委員長職務代理者)
予算とは関係ありませんが、鴨川市の給食費の未納はどの程度ですか。

(山口学校給食センター所長)
平成27年度については若干おりましたが、9月までに全て納入となっております。ただし、他の年度はまだ残っています。

(石井委員長職務代理者)
払わないで卒業していった場合は、どうしていますか。

(山口学校給食センター所長)
毎年、請求をしております。

(長谷川市長)
それでは、子ども支援課よりお願いいたします。

- 羽田子ども支援課長から、平成29年度当初予算における主要事業等について、資料をもとに説明がなされた。

(長谷川市長)
私立幼稚園就園奨励費補助金事業について、もう少し詳しく説明をお願いします。

- 羽田子ども支援課長から、私立幼稚園就園奨励費補助金事業について詳細の説

明がなされた。

(長谷川市長)

子ども支援課について、何かご意見・ご質問はございますか。

○ 特に意見等なし

(長谷川市長)

全体を通して、何かご意見・ご質問はございますか。

(野田教育長)

幼稚園施設の修繕については、子ども支援課で対応しているのか。

(羽田子ども支援課長)

軽微なものは、子ども支援課で対応していますが、大規模なものは教育委員会と連携してやっております。

(野田教育長)

教育委員会で予算的にやっているものはないのか。

(羽田子ども支援課長)

スクールバスの費用については、一部教育委員会で扱っています。

(長谷川市長)

教育委員会と厚生労働省の関係については、言わば幼稚園と保育園の関係ですが、本来であれば幼稚園に関する予算は教育委員会で扱うところですが、本市は子ども支援課で対応することとなっております。

(野田教育長)

幼稚園の管理規則はどうなっているのか。

(羽田子ども支援課長)

幼稚園管理規則は教育委員会の権限となっておりますが、基本的な事務執行に関することは子ども支援課で扱っております。県内では、館山市と南房総市が認定こども園も含め、教育委員会で扱っております。

(長谷川市長)

これは、組織上のことですので、また一考を要するところでもあります。他にございますでしょうか。

それでは、協議事項(1)については、ここまでとさせていただきます。続きまして協議事項(2)の不祥事対応に移らせていただきます。学校教育課長より説明をお願いいたします。

○ 瀧口学校教育課長から、体罰による不祥事案件の概要とその対応について、資料をもとに説明がなされた。

(長谷川市長)

事件の概要、現在の子どもの状況、学校の対応、今後の方向性について、説明がありました。まずはじめに、事件の概要についてはご理解できましたでしょうか。

(根本委員)

朝練習時の指導者は、一人であったのか。

(瀧口学校教育課長)

顧問一人で指導しておりました。

(長谷川市長)

現在の子どもの状況、学校の状況について、何かご質問はありますか。

(石井委員長職務代理者)

同じ部の同級生とか、クラスの友達とかの接触はあるのか。

(瀧口学校教育課長)

今現在、まだ接触がないところであります。

(石井委員長職務代理者)

生徒は、新チームの状況から顧問にレギュラーとして期待されていたと思われる。そのような立場で、このような行為を受けたため友達のことを気にしていると思われる。また、顧問を擁護する声も無きにしも非ずで、余計孤立する可能性があると思われる。今は大人の声は考えず、この生徒が如何にしたら通常の生活に戻れるかを中心に考え、大人が冷静に物事を考えていくことが必要であろう。

(野田教育長)

市教育委員会としては、事実関係をしっかりと県教育委員会へ報告していますが、最優先での対応は、被害生徒が一日でも早く学校復帰できることに重点を置いて対応しております。処分等については、警察および県教育委員会に任せ、報告はしっかりと行うという方針ですのでご理解ください。保護者会が遅い、という声も聞きましたが、被害者側の立場を十分考慮し、顧問教諭を擁護するような声が大きくならないよう配慮した結果、今回のような説明会の日程としましたので、遅いという批判は受けませんが、ご理解をいただきたいと思えます。

(長谷川市長)

今、子どもが何を求めているのか。学校に復帰できることは当然のこととして、どんなことをしてもらえればいいのか、というところでの環境整備はどうなっていますか。

(野田教育長)

カウンセラーと加藤主任指導主事が対応していますが、一番係わっているのは加藤主任指導主事です。

(長谷川市長)

カウンセラーとは誰のことですか。

(瀧口学校教育課長)

巡回相談をやっている臨床心理士の先生です。

(長谷川市長)

どの程度、係わっていただいていますか。

(瀧口学校教育課長)

生徒と直接会ったの面会はまだ1回です。

(吉原委員)

病院では心療内科の診察はやっていますか。

(瀧口学校教育課長)

心療内科はありませんが、病院側で事情を理解し配慮いただいているところです。

(吉原委員)

専門的にケアをできるところに移るよりは、今のところが良いということですか。

(瀧口学校教育課長)

これについては保護者と相談し、現在の環境でケアをしていこうということによっております。

(長谷川市長)

ここまでは質問ということで受けましたが、これからは今後の方向ということでご意見をお伺いいたします。

教育委員会からは、何よりも被害生徒の一日でも早い学校復帰に向けて対応していくということで、加藤主任指導主事を中心に臨床心理士や家庭相談員と連携し対応しているということですが、これについて何かご意見はございますか。

(野田教育長)

他の専門的な医療機関での治療も保護者とともに考えましたが、他の病院では入院までに2～3ヶ月かかることや、子どもにとっての環境にはふさわしくないことなどから、現在の方向で行こうと決めております。

(吉原委員)

民間のカウンセラーに相談するというのはどうでしょうか。

(瀧口学校教育課長)

当初、学校に入っているスクールカウンセラーの相談を薦めましたが、学校関係ということで受け入れられませんでした。そこで小学校時に巡回相談でカウンセリングを受けた経緯のある教育委員会の加藤主任指導主事を薦めたところ、生徒本人も保護者も納得したため現在に至っています。

(村上委員長)

その生徒は、どうして顧問の先生にこのような注意を受けたのか、という原因を理解しているのか。

(野田教育長)

生徒本人より、他の生徒と同じように物音がした方向を見ただけ、という認識で注意を受ける理由がわからなかったと話している。また、今までも今回と似たような指導はあったようであるが、信頼して指導を受けていたので何も思わなかったようである。今回は、信頼した人に裏切られたというような受け止め方をし、恐怖感をもった、と話していた。

(長谷川市長)

非常に愛された境遇にあったものが、突然、信頼している先生から竹刀で殴られ、尚且つ、もう練習には来るな、と言われた。教師にしてみれば励ましの意味で言ったのかもしれませんが、生徒にしてみればそうは取らなかった。その裏返しの部分で言えばかなり強いショックがあったのではなかろうか、と推察します。そういう面での精神的なケアをしてあげたい。何よりも一日でも早く通常の生活に戻れるようにしてあげることが第一優先にしていきたい、と言うのが私のお願いするところであります。

ここで一つ確認させていただきます。日頃から教職員に対して、この体罰についての指導は教育委員会としてしっかりとやっていますか。また、校長は教師にしっかりと指導していますか。

(瀧口学校教育課長)

今回の体罰に限らず、教職員の不祥事防止については常日頃から県教委のパンフレットや事例を通じた研修で指導していることを確認しております。

(長谷川市長)

わかりました。ほかにございますか。

(根本委員)

朝練習の現場に参加していた生徒は何人いましたか。

(瀧口学校教育課長)

13人です。

(根本委員)

他に見ていた生徒や先生はいなかったのか。

(瀧口学校教育課長)

いませんでした。

(石井委員長職務代理者)

この経過をみますと、その日のうちに保護者が警察へ行っているようですが、何かボタンの掛け違いのようなものがあつたのではないかと思います。何か事が起こったときの初期対応には十分注意することが大切ではないでしょうか。

(村上委員長)

子どもがかわいそうで早く治ってほしい、と言う前提で話しますが、今回の事件は、この先生の熱意があり一生懸命やったがゆえに起こってしまったことでもあり、処分が下ったときは、他の先生がやる気を無くす、というようなことにつながることはないですか。

(野田教育長)

厳しい指導とやってはならない体罰がありますが、今回は教育委員会として、やってはならない体罰であると捉えています。確かに厳しい指導も必要ではありますが、今回は体罰と捉えています。

(長谷川市長)

ある程度ご意見が出たところですので私の立場で話をまとめさせていただきます。今回は大変残念なことでありますが、スポーツ・運動部活動の中で起きた事件であります。私は、スポーツは心身ともに鍛えることのできる極めて重要な活動であると理解しており、私たちはまさにそのような中で育ててきております。指導の過程において体罰とは、本人が肉体的に苦痛と感じた時点で体罰であります。それからもう一つは、馬鹿だとか、死ねだとか、言葉によるものも含め精神的な苦痛を伴うものも体罰と捉えます。これによって指導することは決してあってはならない、と認識しておるところでございます。また、これは法律によっても禁止されております。まさに人間尊重という面からも、しっかりと学校現場および指導する教育委員会も認識を新たにしてもらい、今後絶対にこのようなことが起こらないよう指導を徹底してもらいたいと思います。それから前段で言うべきことでありましたが、この生徒が少しでも早く学校復帰できるよう最善の環境を創っていただきたいと思っております。

以上で、この件について締めさせていただきます。

それでは、議長はここまでとさせていただきます、進行を事務局にお返しします。

7 その他

(1) 連絡 (瀧口学校教育課長)

※ この後の予定を確認する。

(2) その他
特になし

8 閉会（瀧口学校教育課長）
それでは、これをもちまして、平成28年度第2回鴨川市総合教育会議を閉じます。ご協力ありがとうございました。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成29年1月 日

鴨 川 市 長

会議録作成者 瀧口 正勝